

第1回基本計画策定委員会（6/20開催）における意見に関する資料

＜委員の意見に対する資料＞

- 1 各府県に示された「基本理念」と「目指す県立学校像」…………… 1
 - ・静岡県立高等学校のスクール・ミッション

- 2 ICT活用の実態調査…………… 6
 - ・BYODの状況 アンケート集計
 - ・教育の情報化の実態に係る主な指標（概要）（文部科学省「令和4年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）（R5.3 現在速報値）抜粋」）
 - ・他県の状況（岐阜県の事例）
 - ・1人1台端末の利活用に関する学校の困りごと

- 3 遠隔教育について…………… 13
 - ・配信センター型による遠隔授業を実施する地域と配信拠点
 - ・北海道の事例（文部科学省「高等学校教育の在り方ワーキンググループ」第2回（R4.12.1実施）資料の抜粋）

- 4 県内の学科について…………… 19
 - ・普通系専門学科、職業系専門学科、総合学科の各学科の概要及び配置
 - ・各学科の具体的内容（理数科、農業科、工業科、商業科、総合学科）
 - ・学科別志願倍率（H29～R5）

- 5 静岡県の学力レベル…………… 30
 - ・令和5年度全国学力・学習状況調査結果
 - ・令和5年度全国学力・学習状況調査平均正答率一覧（小学校・中学校）

- 6 他県流出の割合（高卒後）…………… 33
 - ・令和3年度高校卒業者の静岡県外への流出状況

- 7 全国及び本県の定時制・通信制の学校数・生徒数の推移…………… 34
 - ・定時制・通信制課程の生徒の就業状況等（文部科学省「新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ」第7回（R2.5.21実施）資料の抜粋）

1 各府県の長期計画に示された「基本理念」と「目指す県立学校像」

府県名	計画名	公表年月	計画の目標年次	基本理念	目指す県立高校像など
京都府	府立高校の在り方ビジョン	R4.3	R4年度～R13年度	<p>【基本理念】 <目指す人間像> めまぐるしく変化していく社会において、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人 <はぐくみたい力> 主体的に学び考える力 多様な人とつながる力 新たな価値を生み出す力 <教育に関わるすべての者が大切にしたい想い> すべての子どもを愛情と信頼と期待とで包み込んでいくこと、すべての子どもが【包み込まれているという感覚】を土台にして【自己肯定感】をはぐくむことができるように、学校で、家庭で、地域で、教育に関わるすべての京都の人々が、等しくこの想いを胸に、子どもたちに接していくこと</p>	<p>「府立高校の果たすべき役割」 公教育の場として教育の機会を保障するとともに、選択肢の多様性を確保することを第一義的に捉え、幅広く多様な生徒を受け入れ、「すべての生徒が夢や希望を持ち、未来に向かっていきいきと学ぶことができる高校」を目指す。</p> <p><役割を踏まえた高校教育の展開（主な重点内容）> ・高校教育の質の確保・向上 ・社会的な自立につながる希望進路の実現 ・府立高校の強みである総合力を活かした高校教育の提供 ・学習指導と部活動や学校行事などの教育活動のバランスの良い高校教育の提供 ・時代の変化と社会のニーズに対応した教育環境のもとでの高校教育の提供 ・地域とともにある府立高校づくり ・地域産業との連携・地域産業を支える人材の育成</p> <p><府内高校教育における公私協調> ・公私の役割の在り方等について、建設的に議論</p>
千葉県	県立高校改革推進プラン	R4.3	R4年度～R13年度	<p>【基本理念】 ちばの教育の力で、「県民としての誇り」を高める！ 「人間の強み」を伸ばす！ 「世界とつながる人材」を育てる！</p> <p>【基本目標】 1 ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる 2 ちばの教育の力で、「自信」と「安心」を育む学校をつくる 3 ちばの教育の力で、家庭と地域の絆を深め、全ての人々が活躍できる環境を整える 4 ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る</p>	<p>「目指すべき県立高等学校像」 ・予測困難な時代の中で、生徒が主役となり、未来を切り拓く力を育む学校 ・各校の特色化を進め、生徒・教職員が生き生きと活動して、「自信」を育む学校 ・一人一人の可能性を広げ、地域から世界まで様々な舞台上で活躍できる生徒を育てる学校 ・身近な課題を探究するなど、地域との絆を深め、地域とともに発展する学校</p>
滋賀県	これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針	R4.3	R4年度～R13年度	<p>【基本理念】 「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり（「人生 100 年を見据えた『共に生きる』滋賀の教育）」</p> <p>人生 100 年をより豊かに生きていくために、多様な人と交わりながら、生涯を通じて学び、その学びの成果を地域に生かしていくことで、「人」と、「人と地域」がともに連携し、滋賀の教育の充実と地域の活性化が良い循環を生み出すことを目指すこととしている。</p>	<p>「県立高等学校の目指す姿」 ・生徒が自ら主体的に学び「生きる力」をつけることができる ・生徒が多様性を尊重し世界につながり活躍するための力をつけることができる ・生徒同士が切磋琢磨し成長できる ・場所や時間を選ばない学びができる ・生徒が社会から学び自らの進路を考えることができる ・障害のある生徒とない生徒が互いに学び合い互いを尊重できる ・生徒が自らに合った学びを選択できる ・教職員が生徒一人ひとりに愛情をもって向き合いサポートできている</p>
静岡県	県立高校の在り方に関する基本計画（仮）	R6.3	R6年度～R10年度	<p>【基本理念】 「有徳の人」の育成 ～誰一人取り残さない教育の実現～</p> <p>「有徳の人※」を育成するために、SDGs の理念でもある「誰一人取り残さない教育」を実現し、生徒一人ひとりの特性等に応じた多様な可能性を伸ばすことができる学校づくりを社会全体で進めていくこととしている。</p> <p>生徒の主体性・創造性や多様な可能性を育み、地球・社会全体に関心を持ち地域や身近な人のために行動できる「有徳の人」を育成していくとともに、一人ひとりの夢や希望の実現を支えていく。</p> <p>※「有徳の人」とは、 ・知性・感性・身体能力など、自らの個性に応じて「才」を磨き、自立を目指す人 ・多様な生き方と価値観を認め、自他を大切にしながら「徳」を積む人 ・「才」を生かし「徳」を積み、社会や人のために貢献する「才徳兼備」の人</p>	<p>「目指す県立学校像」 今後の目指す県立高等学校の基本的方向性について、生徒の視点として「学びの変革」、地域の視点として「地域（実社会）との連携」、教育基盤の視点として「教育基盤の確立」の3つの視点を掲げる。</p> <p><学びの変革《生徒の視点》> 変化の激しい時代を生きる生徒に対し「個別最適な学び」、「協働的な学び」、「探究的な学び」等を通じて一人ひとりに応じた主体的な学びや多様な学びを展開する。</p> <p><地域（実社会）との連携《地域の視点》> 主体的な学びや多様な学び、安定した教育基盤の確立に向け、社会資源の活用も含め、地域（実社会）と一体となった教育活動・学校運営を進める。</p> <p><教育基盤の確立《教育基盤の視点》> 人口や教育資源の減少が見込まれる中、教育効果を高めるためにより効率的かつ重点的な資源投入を図るとともに、<u>公教育に求められる学びの機会を提供するための教育基盤（学校規模・配置、施設、人員等）を確保する。</u></p> <p>○各高等学校が地域のニーズや生徒の多様な進路希望に応じて、<u>組織的にスクール・ミッションやスクール・ポリシーを達成できるよう、県教育委員会による様々な支援の充実を図ることとする。</u></p>

静岡県立高等学校のスクール・ミッション

学校名	全日制
下田	賀茂地域における高校教育の伝統的拠点校として、知・徳・体の人間教育と地域連携による課題解決型学習を通して、将来の日本や地域を支え、導いていく人材の育成を目指す。
南伊豆分校	賀茂地区における唯一の専門高校（園芸科）として、小規模校の強みをいかし、生徒が主体的に地域連携活動やキャリア形成に取り組む教育を通して、地域社会を支え、貢献する人材の育成を目指す。
松崎	西豆地区における唯一の連携型中高一貫教育の高等学校及び伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校と連携し、「共生・共育」を実践する高等学校として、少人数で生徒一人ひとりに寄り添った多種多様な教育を通して、自他を大切に、社会や地域に積極的に参画し貢献する生徒の育成を目指す。
稲取	地域に根差した地域と共にある高校として、多様な進路希望に応じた少人数教育と、地元行政や企業、地域で活動する大学等との連携・協働学習を通して、自らの将来を切り拓く力と、東伊豆地域の今と未来に主体的に関わり、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。
伊豆伊東	東豆地区の高校教育の拠点として、個に応じた新しい時代の学びに対応した教育活動を展開することで、未来を創造する人材の育成を目指す。
熱海	東伊豆・田方地域の教育力を活かして生徒を育て、生徒の活力を地域の活性化に生かすオンリーワンハイスクールとして、地元自治体や企業等と連携した探究活動や教科横断的な学習等の多彩な学習経験を通して、生徒の自己肯定感・有用感を高め、地域社会に積極的に参画し貢献する人材の育成を目指す。
伊豆総合	県内唯一の総合学科と工業科の併設校として、「課題解決学習」や「ものづくり」など生徒一人一人の個性を大切に多様な体験的・実践的な学習を通して、地域の産業・文化・歴史を理解し、その発展に貢献できる人材の育成を目指す。
土肥分校	小規模校ならではの手厚い指導のもと、一人ひとりが主役となり輝く学校として、西伊豆地域の自然環境を生かした体験活動を通して新しい自分を発見し、自己肯定感と自己有用感を育むことで自信を持って社会にはばたく生徒の育成を目指す。
韮山	古い歴史と伝統で培われた校訓「忍」の精神と自由闊達な校風のもと、高い進学実績を残す東部・伊豆地域のリーダー校として、地域の歴史や環境などの課題探究型学習などを取り入れた普通科・理数科教育の実践や海外研修などのグローバル教育を通して、地域にねざして国際社会で活躍するグローバルリーダーとして将来の国家・社会を担い、人類の発展に貢献する人材の育成を目指す。
伊豆中央	地域のリーダ的人材育成を目指し、大学等さらなる高度な教育での学びに向かう資質・能力、意欲を育成する学校として、「明るく 正しく たくましい」の校訓のもと、地域連携等の学校内外の多様な人々との協働的な教育活動を通して、自己を鍛え健全で逞しい精神を身に付け、自信と誇りを持って社会や地域を支え導く人材育成を目指す。
田方農業	静岡県東部地域における農業教育の拠点校として、校訓『誠実・勤勉・自治』の下、動植物を介在した特色ある学びと、共生・共育の実践を通して、幅広い教養を身につけるとともに、人間愛に満ちた豊かな心を育て、持続可能な社会づくりと地域産業・文化の発展に貢献する有為な人材の育成を目指す。
三島南	三島・田方地区の中央に位置する、地域に根差した全日制普通科高校として、課題を発見し（知）、他者と連携・協力しながら（仁）、課題解決に向けて行動する（勇）力を身に付ける教育を通して、校訓「自覚」に象徴される、主体的に学んで自らの人生を切り拓き、地域に貢献する人材の育成を目指す。
三島北	豊かな人間性と深い教養の涵養を目的とする学校として、三島・田方地区の自治体や県内外の大学、企業、高校などとの連携のもと、自ら課題を設定し、解決に向けチームで協働しながら取り組む探究活動を通して、国内外で活躍し、持続可能な社会の構築に貢献するイノベティブなグローバル人材の育成を目指す。
御殿場	三つの専門学科（工業科・商業科・家庭科）を併設する県内でも特色ある学校として、三学科併設の環境を生かし、自分の専門性を高めながら、他学科の生徒と交流し、より深い教養と人間性を身につけることを通して、北駿地域の未来を創り支える人材の育成を目指す。
御殿場南	北駿の優れた若者を集め育成するという「鍾駿」の建学精神のもと、主体性と言語活動を重視した教科指導、SDGs探究学習やキャリア面談等で学習及び進路意識の向上を目指すCプロジェクト、協働する姿勢や粘り強さを育む行事や部活動等を通して、「知力」・「精神力」・「体力」・「人間性」を兼ね備えた地域のリーダーとなる人材の育成を目指す。
小山	北駿地域の普通高校として、主体的な活動や多様な人々との協働による教育活動を通して、校訓「自尊」のもと、「いかなる時代にもたくましく生き抜ける人間」の育成を目指す。
裾野	時代の要請の中で変化を続けてきた沼津地区唯一の総合学科高校として、裾野市との連携協定締結のもとキャリア教育を重視し、系列の特色を踏まえて、地域や産業界等と連携し課題解決能力を高める取組を実行する。このことを通して自らの使命を自覚し高め、何事にも挑戦し社会の変化に柔軟に対応できる行動力を育成する。さらに持続可能社会構築を掲げる地域に貢献できる人材育成を目指す。
沼津東	静岡県東部地区の伝統的拠点校として、自治の精神を重んじ、生徒の主体的な学びを支援して、高い志の実現と社会の発展のために率先して行動する人の育成を目指す。
沼津西	沼津地区の歴史ある伝統校として、普通科・芸術科併置校の特色を生かし、地域との協働による教育活動を通して、未来を切り拓き、より良い社会づくりに参画する人材の育成を目指す。
沼津城北	校訓「自分を発掘せよ」「自分を偽るな」「あすのために鍛えよ」のもと、沼津市にある普通科高校として、先進的に取り組んできているアクティブ・ラーニング型授業の実践を通して、知識基盤社会を生き抜く「学ぶ力」や「高い志」を持ち、自他の人権を大切に「人間力」を備えた人材の育成を目指す。
沼津工業	静岡県東部地区工業教育の拠点校として、企業・地域・高等教育機関等との連携教育や、ICT活用教育などの魅力ある授業づくりを通し、21世紀を生きる有徳のエンジニアの育成を目指す。
沼津商業	県東部地域における商業高校としての伝統や実績を兼ね備えた拠点校として、販売実習「沼商屋」など校内外の関係機関と連携した実践的な活動、地域課題を探究する活動及びビジネスマナー教育を通して、産業界及び地域社会を担う有為な人材の育成を目指す。
吉原	富士市内で開校が最も古く、普通科と国際科が設置されている伝統校として、校訓「正しく(Right)、強く(Strong)、明るく(Bright)」を具現化するための方策(RSB Strategy)とグローバルな視野で地域の課題解決に取り組む探究学習を通して、吉高Spirit*1を持って未来を切り拓く5つの力*2を身につけた人材の育成を目指す。 吉高Spirit*1:「自分を信じる心」「相手を認める心」「社会の役に立とうとする心」 5つの力*2:①自己肯定力、②分析・思考力、③想像・想像力、④共生力、⑤表現・実行力
吉原工業	製紙産業・輸送機器関連産業・化学産業等、多様な産業が集積する工業都市の中にある、地元根付いた工業高校として、技術革新を見据えた最先端の工業教育と、ものづくり教育を通して、Society5.0を迎える世界に対応した、確かな知識と技術を身に付け、地域の発展に寄与できる人材の育成を目指す。

静岡県立高等学校のスクール・ミッション

学校名	全日制
富士	県東部地区における高校教育の拠点校として、幅広い知識や教養の修得を基盤とした上で、物事を柔軟に捉えて解決策を導き出す探究的な授業や探究活動を通して、国際社会や国内及び地域の発展に寄与するために、百尺竿頭の精神を失わず主体的に学び続ける各分野の先導的な人材の育成を目指す。
富士東	大学との連携・協働による探究学習の充実を図るカリキュラム研究を核とした、地域から信頼される文武両道の富士地区普通科高校として、社会的な課題に関心を持ち、自律的なキャリアデザインを描きながら自ら進んで学ぶ力を育む教育を通して、地域社会の発展を担い、リーダーとして活躍する人材の育成を目指す。
富士宮東	富士・富士宮地区の普通科（普通コース・芸術コース）と福祉科を併置した地域と共に歩む伝統校として、学科やコースの特色を生かしたきめ細やかな教育を通して、心身の健康・豊かな知性と感性・主体性を育み、地域貢献や目標実現のために努力し続ける人材の育成を目指す。
富士宮北	「覇気・信念・明朗」の校訓のもと地域で活躍する多くの人材を輩出してきた伝統校として、「文武両道」の精神で勉学と部活動に全力で取り組む教育活動や、実践的な商業教育、富士山の恵みを活かした探究学習、地域と連携した国際理解教育などを通して、地域社会の発展に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指す。
富士宮西	富士宮市を代表する全日制普通科高校として、卒業後は大学等への進学によるさらなる高みを臨む生徒に対し、伝統ある校訓「志尚～知を求め 他を思いやり 躍進せよ～」を令和時代に合わせて読み解き、「自分で考え、主体的に行動する力（＝Agency）」と「多様な価値観を理解し、課題を多面的に見る力（＝Diversity of perspectives）」を培う教育を推進することで、将来地域のリーダーとして活躍し、世界に向けて富士・富士宮を発信できる人材の育成を目指す。
富岳館	富士山の豊かな自然と文化に恵まれた、富士・富士宮地域で最も伝統があり、かつ新たな道を歩み続ける総合学科の高校として、生徒一人ひとりが主体的に多様な学びを選択し、探究的に学習することを通して、地域社会の持続可能な発展に貢献し、たくましく生きる力を備えた人材の育成を目指す。
清水東	普通科と県内で初めて設置された理数科を併設する文武両道を目指す学校として、文理の枠にとらわれず、SSH活動で培われる科学的思考力や探究心を養う教育を通して、国内外で活躍し、社会にイノベーションを起こすリーダー人材の育成を目指す。
清水西	本校は、地域（清水区）と共に歩み、110年を超える歴史のなかで、地域の各機関と連携しながら、医療看護を中心に、地域を支える人材を多数輩出してきた。令和の時代においても、多様な進路の実現が可能な学校として、生徒一人一人を尊重し、地域での様々な学びを通して、豊かな人間性と確かな学力を身に着けた地域の未来を創生するグローバルリーダーの育成を目指す。
清水南	世界文化遺産のある三保の地で、普通科と芸術科を併置した県立中高一貫校として、表現活動や探究活動及び芸術教育を通じて、高い知性と豊かな感性・表現力を備えたグローバル人材の育成を目指す。
静岡	本県における高校教育のフロントランナーとして、校訓「印高」の精神の下、主体的に勉学に励み、何事にも探究心をもって課題解決を図る学習を通して、将来、国内外の様々な分野で活躍するグローバルリーダーの育成を目指す。
静岡城北	グローバル教育を推進する普通科・グローバル科併置の伝統校として、広い視野で地域の課題を発見し解決する探究活動を通して、将来のShizuokaを支え、行動する人材の育成を目指す。
静岡東	卒業後多くが大学等に進学する静岡地区の文武両道の学校として、生徒一人ひとりの可能性を広げる個に応じた手厚い教育を通じて、自分に負けず、明日を拓き、主体的に社会を作っていくようとする人材の育成を目指す。
静岡西	スポーツコースを有する普通科高校として、生徒一人ひとりの多様な学習ニーズや進路希望に応じた教育課程と主体的に学びを深めるための協働的な学習の実践を通して、健やかな心身を育み、生涯にわたってスポーツを愛する心を育てるとともに、自分を信じ、相手を認め、社会の役に立とうとする心を持って未来を生き抜くことができる人材の育成を目指す。
駿河総合	多様な学びを実現する都市型総合学科の高校として、主体性と個性を尊重しつつ他者と協働して学ぶ教育を通して、社会や地域に積極的に参画し貢献する人材の育成を目指す。
静岡農業	静岡県中部地区の3系列、5学科を有する全日制農業科専門高校及び静岡県の農業教育中心校として、「真実・自律・友愛」の校訓のもと、常に「生徒と共に、地域と共にある」ことを目標に、実践的な農業教育を推進し、感謝の気持ちや思慮深さ、チャレンジ精神や創造力・想像力・実践力を持ち合わせた地域でリーダーシップが取れる人材の育成を目指す。
科学技術	進路実現を可能とする8つの専門学科を有する科学技術教育の拠点校として、大学や産業界との連携や技術技能系の資格取得等を通して、未来を切り拓く感性と創造力を培い、社会に貢献できる科学技術のスペシャリストの育成を目指す。
静岡商業	校訓「剛健進取」のもと、創立120年を超える歴史と伝統を誇る静岡県を代表する商業高校として、産・学・官との地域連携による「課題研究」などの実学教育と課題解決型学習等の教育活動を通じて、地域を担うビジネスリーダーや知徳体のバランスのとれた社会性に優れた有為な人材の育成を目指す。
焼津中央	高い目標を掲げて進路実現を目指す地域の中心的な高等学校として、校是「文武両道」の下、生徒の主体的な学びや学力伸長を支援する授業、積極的な異校種間（中・高・大）連携事業による先進的な取組、工夫を凝らし体系化された進路指導などを通して、揺るぎない自己を確立し、社会や地域に積極的に参画・貢献する「たくましく・たしかで・ゆたかな」人材の育成を目指す。
焼津水産	県内唯一の水産・海洋高等学校として、企業や行政、高等教育機関等との連携による「体験的・探究的な学習」、「高度で実践的な学習」を通して、未来の地域産業を担い、地域の発展と活性化に貢献できる人材及び全国の水産産業を牽引する人材の育成を目指す。
清流館	志太地区において2つの学校の伝統と2つの学科（普通科と福祉科）を持つ、地域に根差した学校として、基礎基本を大事にした授業、持続可能性や地域の課題に目を向けた探究学習や生徒主体の学校行事を通して、地域に生き、自他を敬い共に暮らし、地域社会に貢献する人材の育成を目指す。
藤枝東	校訓「至誠一貫」のもと、各方面に優秀な人材を多数輩出する志太榛原地区の拠点校として、文理を融合した教育課程の先進的な研究を進めると共に、学ぶ意欲を高める授業と探究力を育む教育等の実践を通してグローバルリーダーとして、新たな価値を創出し、未来社会を切り拓いていく人材の育成を目指す。
藤枝西	校訓「自律 敬愛」のもと、キャリア教育を核として、人格の完成を目指し、地域、保護者に信頼され、生徒一人一人の多様な進路希望を実現できる学校として、主体性・協働性を育む多様な学び、豊かな感性と異文化理解の精神を育むグローバルプログラム、地域とつながるコミュニティ・スクール事業の3本柱を通して、地域や国際社会に貢献することができるグローバルな人材の育成を目指す。
藤枝北	地域に密着した志太榛原地区で唯一の公立全日制総合学科高校として、地域や企業等と連携した体験的・実践的・探究的な学びを通して、多様な人々と適切に関わり社会に貢献できる人材の育成を目指す。

静岡県立高等学校のスクール・ミッション

学校名	全日制
島田	専門的な学びのための高等教育に備える志檜地域の高校として、良き伝統、校風を継承発展させ、主体的な授業、充実した課外活動、学校行事を通して、新たな社会の形成者としての高い知性、豊かな感性、健やかな心身、多様な国際感覚を備え、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。
島田工業	静岡県中部志太檜原地区の工業高校として、校訓「璞磨～誠実・叡智・創造～」のもと、人間力の構築と共に地域産業界との連携を通して確かな学力を習得することで地域の発展に寄与し、時代の変化に柔軟に対応できる職業人材の育成を目指す。
島田商業	志太・檜原地区の商業教育の拠点校として、身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジする教育活動を通して、地域社会で活躍できる生徒の育成を目指す。
金谷	志太・檜原地区の普通科高校として、生徒の個性を伸ばさせ、困難や逆境に立ち向かう心（レジリエンス）を育成する教育を通して、地域創生や地域文化の継承・発展に寄与する地域社会の未来を支える人材の育成を目指す。
志太檜原地区 新構想	令和に誕生したフレックスハイスクールとして、生徒一人ひとりの学習スタイルやニーズを尊重し、新しい時代に対応した教育を通して、グローバルな視点を持って地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。
川根	連携中学校、県内全域、全国から生徒が集う学校として、地元自治体、企業等との連携による探究活動や少人数指導などの教育活動を通して、未来を切り拓く力（自律性・人間性・探究心）を備えた人材の育成を目指す。
檜原	地域に愛され、地域と生きる普通科・理数科併置校として、進学希望を実現する教育活動と、グローバルな探究を通して、未来の社会の発展に貢献するリーダーとなる、能力と視野をもった人の育成を目指す。
相良	牧之原台地の南に位置する自然豊かな普通科・商業科併設の地域密着型の高校として、課題解決学習やボランティア活動を通じた探究的教育を通して、将来の地域社会を支えていくための自覚とビジョンを持った人材の育成を目指す。
掛川東	小笠掛川地区に位置する、清楚で礼儀正しく誠実な人物を輩出する普通科の伝統校として、自律と自立を重んじ、多様性を認め、「主体的・対話的で深い学び」を実践する教育活動を通して、人生を主体的に創造し、地域に貢献できる人材の育成を目指す。
掛川西	中東遠地区の理数科を併置する伝統校として、主体性・協働性・創造性・自己有用感を醸成する先進的な教育活動を通して、社会に貢献し未来を切り拓く人材の育成を目指す。
掛川工業	中東遠地区唯一の工業高校として、「ものづくり」を軸にした様々な教育活動を地域及び産学官と共有することを通して、生徒の多様な進路に対応するとともに、産業界の進歩発展に貢献しうる創造性豊かな技術者の育成を目指す。
横須賀	小笠・掛川地域に根差し、地域に密着した高校として、少人数指導で個性を伸ばし、主体的・実践的な教育を通して、地域に貢献し、地域の将来を担う人材の育成を目指す。
池新田	御前崎市唯一の高等学校として、進学から就職まで地元生徒の多様な進路希望に対応し、グローバルな企業との連携による様々なキャリア教育を通して、自ら考え行動しながら、地域社会に積極的に参画し共創する人材の育成を目指す。
小笠	県内屈指の授業科目数を誇る総合学科高校として、生徒一人ひとりのニーズに対応した授業や、充実した探究的な学習・課題解決型学習を通して、地域社会の未来を支え貢献しようとする人材の育成を目指す。
遠江総合	周智郡森町唯一の全日制総合学科の高校として、総合学科ならではの幅広い選択科目と系列学習、地域と協力したキャリア教育を軸とした教育活動を展開し、困難な状況でも自らそれを乗り越える力を身に付け、多様な人々と協働して将来の地元地域社会に積極的に参加し、その発展に貢献できる人材の育成を目指す。
袋井	磐周地区の地域に密着した全日制普通科高校として、校訓「自立・連帯・敬愛」のもと、教科学習だけでなく地域やグローバルについての探究活動やこれからの多様な学びを求める大学進学への対応を通して、生徒自らが主体的に活動し、他者と協働しながら、将来地元地域や国際社会に貢献する人材の育成を目指す。
袋井商業	地域社会・地域経済を支える有為な人材を輩出してきた県下有数の伝統を誇る磐周地区の商業専門高校として、実践を伴う主体的な学びとビジネスマナーを育む教育活動を通して、心身ともに健全でたくましく、「知・徳・体」のバランスが取れた人材の育成を目指す。
磐田南	校訓「質実剛健 真剣至誠 文武両道」の下、磐周地区の「学び」の拠点として、質の高い授業、生徒の自主性を尊重した学校行事や部活動を通して、確かな学力と健やかでたくましい心身の育成を目指す。
磐田北	磐周地区における人間教育の伝統校として、校訓「優しく 遅しく 誠実に」のもと、多様な価値観や人との関わりの大切さを体験から学ぶ教育を通して、心身ともに健康なたくましさで未来を切り拓く実践力を持つ人物の育成を目指す。
磐田農業	静岡県西部地域における農業教育の拠点校として、校訓『高品性 重労働（品性を高うして、労働を重んずる）』の下、農業教育を基盤とした、各学科における専門的で充実した授業・実験・実習並びにその学びを生かすための積極的な地域交流・地域貢献活動等を通して、広い教養と農業の知識・技術を身に付け、地域や産業社会の発展に貢献できる心豊かで人間性あふれる人材の育成を目指す。
磐田西	普通科と総合ビジネス科を併設する生徒の多様な進路希望に対応する学校として、地域との連携に基き、グローバルな視点を取り入れた探究学習を通して、広い視野を持った地域・社会に貢献できる人の育成を目指す。
天竜	天竜地区における地域人財、専門人材育成の拠点校として、地域の企業、大学、団体等との連携・協働を通して、地域の自然や文化を愛し地域の発展に貢献するとともに、自らの目標に向かって粘り強く努力し未来を切り拓くことができる人財の育成を目指す。
春野校舎	一人ひとりの生徒を大切にするとともに、生徒が「信頼」「信用」「安心」して学ぶことができる天竜・磐周地区の普通科高校として、個に応じた教育、地域人材・企業・団体等との連携、協働による教育の推進を通して、夢や希望に向かって努力し自分らしく生きるとともに、人の役に立ち地域の文化・産業を支える人材の育成を目指す。
浜松北	「自主独立」の精神のもと、向学心と向上心にあふれる仲間と切磋琢磨する学校として、授業や学校行事、部活動、キャリア教育や異文化理解教育等の全教育活動を通して、広く世界的視野に立って人類の発展に貢献し得る「逞しい人材」の育成を目指す。
浜松西	進取の精神に富む国際都市浜松における、中高一貫教育及び高校教育の拠点校として、教育活動全体を通して、生徒に高い知性、豊かな心、たくましい力を育み、社会貢献への高い志を持つ人材及び国際社会のリーダーとして輝く人材の育成を目指す。
浜松南	世界的企業の発祥地となった工業都市にある普通科・理数科を併置する高校として、大学・企業と連携しながら、高い学力と幅広い人間性を育む教育活動を通して、社会に貢献しようとする志を持ち、最善を尽くして21世紀に自らの人生を切り拓き生き抜く人材の育成を目指す。
浜松湖東	地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、地域社会が抱える課題の解決に向けた学びに重点的に取り組む浜松市西部の普通科高校として、生徒自身が実際に様々な社会問題と向き合うことで、自分がどのような形で実社会と関わることができるかを体験を通して学んでいくことができる教育を通して、論理力や答えの出ない事態に耐え得る力を身に付け、「自分から、自分らしく、自分の言葉で語れる生徒」の育成を目指す。

静岡県立高等学校のスクール・ミッション

学校名	全日制
浜松湖南	静岡県西部地区の普通科・英語科を併設した、多文化共生を推進する拠点となる高校として、社会に広く目を向け、異文化理解を推進すると同時に、自己探究と個性の確立を目指す教育を通じて、真理を愛し、国際感覚を備えた社会の有為な形成者として、たくましく未来を切り拓いていく人間の育成を目指す。
浜松江之島	県西部地区の普通科・芸術科併置校の特色を生かし、多様な生徒の多様な進路希望を全力で応援する地域密着型の学校として、「わかる」授業の実践と地域社会との接点を重視した探求学習を通して、知性と規律性、主体性を身に付け、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。
浜松東	浜松市内唯一の商業科と普通科を併置した学校としての特色を生かし、校訓「学ぶ術を学ぶ」のもと、進学から就職までの生徒の多様な進路希望に対応したキャリア教育や充実した学校行事、部活動を通して、生涯にわたって学び続ける基盤となる力をつけるとともに、自立心と思いやりの心を持ち、地域や社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。
浜松大平台	校訓「未来を拓く」のもと、キャリア教育を推進し、多様な進路希望に対応する充実した教育環境を有する浜松地区の全日制総合学科の高校として、3年間を貫いた探究活動を柱としながら、6つの系列をはじめとする多様な学びの機会（教科・科目）を自ら選択し、教科横断的な視点・学力を獲得できる総合学科の強みを生かした教育を通して、コミュニケーション能力、様々な視野・感受する力、デザイン思考力等を身につけ、地域のリーダーとして、地域社会を支え、国内外で活躍できる人材の育成を目指す。
浜松工業	校訓「質実勤勉」を柱に、人間性豊かにして、勤労を尊び、知性と創造性に富む工業技術者を育成する学校として、確かな技術力と分野横断的な応用力、そしてSSH(Super Science High school)での研究を通して、鍛え抜かれた実践力と科学に基づく思考力を身につけるためのカリキュラムを通じて、静岡県西部地域の製造業を支える人材にとどまらず、Society5.0で実現する社会を支える最先端科学技術者の育成を目指す。
浜松城北工	浜松地域に根差した工業高校として、地元企業と連携した教育を通して、社会で活躍できるスペシャリストの育成を目指す。
浜松商業	「誠実・勤勉・敬愛」の校訓のもと、県西部の商業教育の伝統校・包括的拠点校として、グローバルな企業・大学・行政等との連携を深め、商業4分野や特別活動・部活動等を軸に据えた課題解決型学習を通して、国内外で活躍したり、広く社会や地域に積極的に参画したりする、将来を担っていく人材の育成を目指す。
浜名	「高きを求めて文武両道に励む」百年を超える歴史と「明るく朗らか」な校風を有する北遠の普通科拠点校として、挑戦・探究による「未来創造プロジェクト」などの「志」「学力」「豊かな人間性」を育む生きた教育を通して、自己と社会の未来を創造する「気概」「能力」「品徳」を持ち合わせた、時代をリードし幅広く活躍する人材の育成を目指す。
浜北西	校訓「自己を拓く」の下、主体性を育む多くの教育の機会を提供し、幅広い進路に対応する地域に根差した全日制普通科高校として、キャリア教育に国際理解教育、地域連携・協働活動などを取り入れた探究的な活動を通して、グローバルな視野で、将来、地域社会（ローカル）で活躍できる能力と態度を備えた人材の育成を目指す。
浜松湖北	校訓「志高く 未来を創る」の下、浜松北部地区において地域とともに歩む普通科・専門学科併置校として、地域の資源や人材の活用及び実践型の教育活動を通して、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。
佐久間分校	北遠地区(愛知県奥三河地区を含む)における生徒の多様な進路希望にこたえる全日制普通科高校として、丁寧で手厚い少人数教育と複数の学校や地域と連携した教育を通して、誠実で地域や社会の中でより良く生きる能力や態度を持った人材の育成を目指す。
新居	全国有数の工業地域に立地し、100年近い歴史を有し地域を支える有用な人材を輩出してきた全日制普通科として、多様な生徒1人ひとりの個性と地域のニーズに対応したコース制による学習や、校訓「勉学」「礼儀」「積善」を教育実践に生かし、心身ともに健全で実践力と創造力を持った地域に貢献できる人材の育成を目指す。
湖西	湖西市に密着した「グローバルハイスクール」として、湖西市・市内各学校・地元自治会・企業との広く強い連携による探究活動、各教科の授業と楽しい行事、充実した部活動を通して、様々な生徒一人ひとりの個性を伸ばし、自ら考え実践し、地域に貢献し、社会・産業を支える人材の育成を目指す。

2 ICT活用の実態調査

(教育DX推進課)

◆BYODの状況 アンケート集計（全日制87校）◆

<R4年度入学生BYODの端末の種類>

端末種類	学校数（割合）
chromebook	48校（55.2%）
iPad	18校（20.7%）
windows 端末	1校（1.1%）
Android タブレット	0校（0.0%）
特に指定しない	20校（23.0%）

<学校で使用している（予定を含む）システム（複数回答）>

システム	学校数（割合）
Google (Google Workspace for Education)	83校（95.4%）
スタディサプリ	29校（33.3%）
ロイロノート	25校（28.7%）
Microsoft (Office 365 A1)	25校（28.7%）
C-Learning	24校（27.6%）
Classi (クラッシー)	20校（23.0%）
デジタル採点	9校（10.3%）

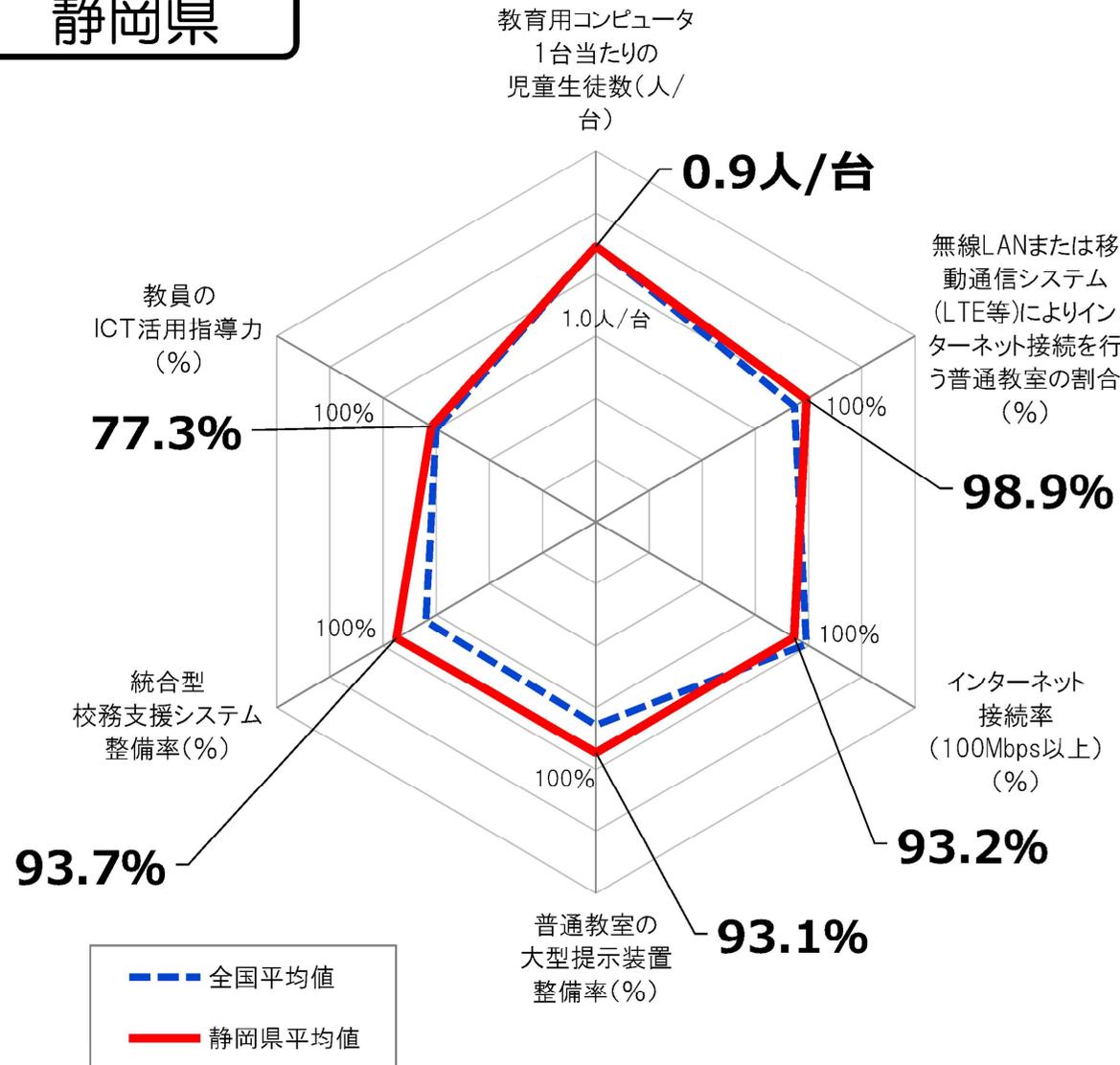
※その他：ロコクリ、locus、39 メールYouTube チャンネル、COCOO、Metamoji、
OPE（学習eポータル）、Quizlet、Kahoot!、静岡中央オンライン学習サイト

<学校での ICT 活用について>

主体	活用方法
校務	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケート（申込等含む） ・職員会議でのペーパーレス化（PDF データ配布） ・出欠連絡 ・健康観察 ・連絡事項の共有 （朝の打合せ、教職員の情報共有、事務室との連絡、チャットの活用、保護者への連絡） ・集会や学校行事等の配信等 ・オンラインでの職員研修 ・デジタル採点によるテストの採点
教員	<ul style="list-style-type: none"> ・教材・資料の提示（プロジェクト提示や配布、スライドの活用） ・小テストや意見の集約（Google フォームやロイロノート等の活用） ・課題の配布・配信・回収（クラウド上でチェック、小論文や英作文の添削等） ・英語のスピーキングテスト ・授業配信（他教室への配信、登校できない生徒への配信） ・動画撮影 ・ペーパーレス化（板書の時間の削減→対話や思考の時間の確保） ・学習用アプリの利用 ・デジタル教科書の利用
生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出・アンケート回答（進捗管理） ・資料作成（調べ学習、レポート作成、プレゼン資料作成、実験のまとめ等） ・協働学習（ジャムボード等での意見共有、情報共有、総合的な探究の時間での協働作業） ・ライブ配信の受信 ・動画で個別学習 ・英語のリスニング教材の反復学習 ・体育等で動画撮影を行い、自分のプレーの振り返り ・辞書（アプリ）の活用 ・プログラミング ・実習記録の入力
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取組（Google classroom やロイロノート等配信された課題含む） ・調べ学習や協働学習（レポート作成、スライド作成等含む） ・辞書として活用 ・連絡事項の確認（学校から、クラスから、部活から、欠席時に確認） ・授業の振り返りやアンケート回答 ・動画サービスによる学習 ・出席停止（隔離期間）や休校中の自学自習、授業配信

教育の情報化の実態に係る主な指標（概要）

静岡県



指標(全学校種)	静岡県 平均値	全国平均値
教育用コンピュータ 1台当たりの児童生徒数	0.9人/台	0.9人/台
無線LANまたは移動通信システム(LTE等)によりインターネット接続を行う普通教室の割合	98.9%	96.9%
インターネット接続率 (100Mbps以上)	93.2%	97.5%
普通教室の 大型提示装置整備率	93.1%	87.4%
統合型校務支援 システム整備率	93.7%	86.3%
教員のICT活用指導力	77.3%	78.1%

※「全学校種」とは、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校のことをいう。

※「大型提示装置」とは、プロジェクタ、デジタルテレビ、電子黒板のことをいう。

岐阜県における県立学校1人1台端末の整備と活用

～「ふるさと教育」の探究的な学びから“未来を創る学び”の模索へ～

岐阜県教育委員会 教育総務課
ICT教育推進室長 下野 宗紀

1 岐阜県教育委員会のICT環境整備の原点

岐阜県教育振興基本計画（第3次教育ビジョン）＜令和元年度～令和5年度（5年間）＞における2つの大きな柱として『ふるさと教育』と『ICT環境整備』を位置付け

1 ふるさと教育の充実

- 小・中・高等学校一貫したふるさと教育を推進
- 高等学校においては、ふるさとをテーマとした**探究的な学び**を推進

→高校では、小中学校で学んだ知識をベースに、全県立高校を以下の4つのグループ（Ⅰ～Ⅳ）に分け、それぞれ学校の特性に応じて、地域の課題解決に向けて実践《◆は具体的実践例》

- Ⅰ. グローバルな視点で課題を探究する学校
 - ◆広く地域活性化を目指して5分野から生徒が選択、個人による課題研究【大垣北高校】
 - ◆地域の自然環境に関する科学研究と英語指導を併せた課題探究【多治見北高校】
- Ⅱ. 地域に密着した課題を探究する学校
 - ◆観光客への地域の魅力発信を通じた地域課題探究活動【益田清風高校】
 - ◆地域の希少生物の生態系に迫る科学的な探究活動【多治見高校】
- Ⅲ. 地域とともに活性化する魅力ある学校
 - ◆地域課題解決型学習に関する科目を学校独自で多数開講【東濃高校】
 - ◆耕作放棄地再生による地域貢献とグローバルで質の高い農業教育を展開【恵那農業高校】
- Ⅳ. 地域の企業等と連携した専門学校
 - ◆地元企業の専門家による実践的な工業教育の展開【可児工業高校】
 - ◆地元企業・商店と連携し商品開発から販売まで手掛ける商業教育の実践【大垣商業高校】

2 ICT環境の整備と利活用の推進

- **探究的な学びを推進するための基盤**
- 教職員の働き方改革の推進

→ICT環境を「探究的な学びを推進するための基盤」と位置付け、県独自に整備スタート

2 岐阜県教育委員会における県立学校のICT環境整備の流れ

令和元年度 ICT環境整備スタート

- ◇ 「電子黒板機能付きプロジェクター」「書画カメラ」「Wi-Fi環境」「授業用タブレット端末」「ホワイトボードへの張替」
→ これら全てを県立学校の全普通教室と一部の特別教室に整備
- ◇ ICT活用に関するWG（ワーキンググループ）を県教委職員と教員（5名）で結成
→ 使用方法や活用事例を紹介した冊子を2種類作成し教員に配付

令和2年度前半 オンライン学習支援開始

- ◇ 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業下、4月下旬から全県立学校でスタート
- ◇ 順次、最大で900室のオンライン会議室を準備
- ◇ LTEタブレット貸し出し（1,100台）により全ての児童生徒が学習支援を受信可能に

令和2年度後半 1人1台タブレット端末環境の整備

- ◇ 県立高校及び特別支援学校の児童生徒(約4万2千人)に配付(※国のコロナ臨時交付金などを活用)
- ◇ 新型コロナウイルス感染再拡大による臨時休業等の場合に、随時オンライン学習支援
- ◇ マイクロソフト365ライセンスを高校生全員に発行
- ◇ 学習支援ソフト“MetaMoJi Classroom”を高校生全員(一部の特別支援学校の児童生徒)に導入
- ◇ 5つの学びのスタンダード制定
 - ①学習プリントや課題、小テストのデジタル化
 - ②動画やデジタルコンテンツを積極的に活用
 - ③グループなどでの探究的な学習に活用
 - ④地域や外部機関などと連携した学習に活用
 - ⑤家庭学習、コロナ禍や非常変災等、個別の対応に活用

令和3年度 1人1台タブレット端末の活用元年

【本年度の目標】

- ◎ 授業や家庭学習など「学び」への端末の効果的な活用
- ◎ 校務のデジタル化による教職員の働き方改革の推進

【ICT推進体制】 ←人的なサポート体制

- 県教育委員会事務局に「ICT教育推進室」を新設

《ICT教育推進室(15名)の任務》

- (1) 学校の取組支援と情報発信・共有
- (2) 教員向け研修の実施
- (3) “未来を創る学び”の研究と働き方改革の推進
- (4) 情報基盤の整備・管理
- (5) GIGAスクール構想への対応

- 県内各地区にICT地区担当教頭・指導主事を配置
→ 定期的に学校を訪問して、各校の取組を支援

【1人1台タブレット端末の活用事例】

- ◆ MetaMoJi Classroom を活用したグループ単位の探究学習【岐阜高校】
- ◆ 1人1台タブレット端末を農場に持ち出し成長を解析する農業実習【大垣養老高校】
- ◆ 新型コロナ対策等におけるオンラインによる家庭学習支援【岐阜商業高校 他】
- ◆ デジタル化による校務の効率化・簡素化を通じた働き方改革推進【東濃実業高校 他】

3 今後の課題について

【ICT環境面について】

- タブレットの充電器について(持ち帰りか学校保管か)
- インターネット接続環境の充実(岐阜県情報スーパーハイウェイ)
- コンピュータ教室の今後の整備方針

【学びへの活用について】

- 教師や生徒のMetaMoJi や manaba(学習支援アプリ)の習熟
- 産学官連携による“未来を創る学び”の共同研究
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を踏まえて～

【校務のデジタル化について】

- 校務の効率化・簡素化による働き方改革の推進
(IT企業の支援を受けながらモデル校と県教委が連携して検討)

※ご清聴ありがとうございました。ご質問等は所属・氏名をお知らせの上、以下へどうぞ。

岐阜県教育委員会教育総務課 ICT教育推進室

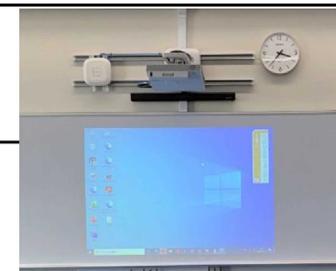
TEL : 058-272-1111 (内線 4973)

E-mail : c17765@pref.gifu.lg.jp

- 全ての公立学校で、一人一台端末の整備が完了している。
- 県立学校では、ICT環境が必要となる教室（普通教室・特別教室）には整備が完了している。

ICT機器の整備状況【県立高校・特別支援学校】

	一人一台端末	教室環境
整備時期	令和2年度末までに完了	令和3年度末までに完了
数量	約42,000台	約2000教室
概要	Surface Go Surface Go 2	電子黒板機能付きプロジェクター 実物投影機 無線LAN
その他	耐用年数 5年	



※公立小中学校の一人一台端末は整備完了済み（令和4年）

【出典】県教育委員会

◆ ICT機器を活用した学習活動を充実すること。

1人1台端末の利活用に関する学校の困りごと

(教育DX推進課)

1 整備状況

- ・ 県立高校の普通教室に無線 AP を 100%整備。ネット回線も改善。
- ・ R4 年度入学生より随時 BYOD で端末を使用した授業を実施している。

2 学校からの声

【ネット環境面】

- ・ 概ね問題なくつながっているが、一斉に同時接続すると時々Wi-Fi に接続できないことがある。

【持ち運びに伴う故障・不具合】

- ・ 端末の故障が多い（キーボードの不具合含む）ため、端末故障時対応として保険に加入するか悩んでいる。

【機能面】

- ・ Google のサービスでアプリ使用かブラウザ使用か、それぞれ利用できる、できないのばらつきがあり戸惑うことがある。
- ・ Chromebook は縦書きができないため、国語の授業では使いづらい。

【人的支援】（機器の故障対応、ネットワーク設定対応、授業中の ICT 機器不具合対応）

- ・ ICT 支援員もいいが、各校 1 人常駐の職員がいて学校専任で情報機器対応できる人材が必要。
- ・ 情報関係の管理に知識のある教員や事務職員がいないと難しい。いないとかなり負担になる。

【教員研修】

- ・ 年齢の高い人は苦勞している。不慣れ、苦手意識を持っている人（特に定年近く）は研修しても響かない。

【その他】

- ・ GIGA 以前の iPad だとタッチペンに対応してない。
- ・ グーグル検索に認証確認が最近よく出る。
- ・ 校内 LAN サーバが廃止されることで、学習系の端末と校務系端末とのデータのやりとりが煩雑になってしまう。

3 遠隔教育について

(高校教育課 学校づくり推進班)

◆配信センター型による遠隔授業を実施する地域と配信拠点◆

地域	配信拠点
北海道	北海道高等学校遠隔授業配信センター T - b a s e (北海道有朋高等学校内に設置)
岩手県	配信センター (岩手県立総合教育センター内に設置・配信教員は近隣の花北星雲高等学校に在籍)
新潟県	遠隔授業配信センター (新潟翠江高等学校内に設置)
愛知県	愛知県総合教育センター
高知県	遠隔授業配信センター (高知県教育センター内に設置・配信教員は近隣の岡豊高等学校に在籍)
熊本県	熊本県立教育センター

※文部科学省 第7回高等学校教育の在り方ワーキンググループ資料
(令和5年6月30日実施)

「CORE ハイスクール・ネットワーク構想における遠隔授業に係る調査研究の成果
(中間報告)」を基に作成

道立高校における遠隔教育の取組

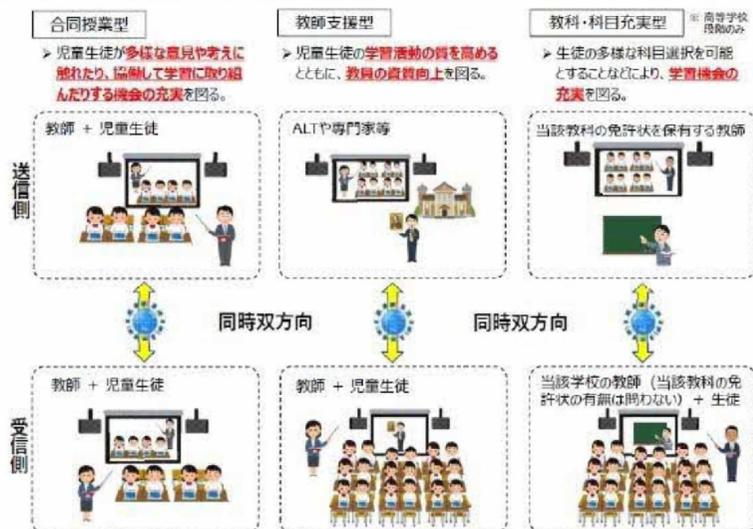
文部科学省「高等学校教育の在り方ワーキンググループ」
第2回（R4.12.1実施）資料より抜粋

【参考35】遠隔授業の3類型

遠隔授業は、「遠隔教育の推進に向けた施策方針」（平成30年（2018年）9月14日、遠隔教育の推進に向けたタスクフォース）に基づき、次の3類型に分けることができます。

合同授業型	<p>教科・科目等（総合的な探究の時間及び特別活動含む。）の授業において、遠隔システムを活用して、生徒間の意見交換や協議、協働活動等を行う授業形態</p> <p>この場合、各教室には、当該教科の免許状を保有する者が担当教師として携わることが条件になる。合同授業で実施する生徒の学習場面としては、次のようなものが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆情報の集約 ◆意見や考えの出し合い、話し合い ◆協働活動、共同制作 ◆発表 ◆互いの地域の特徴や共通点・相違点の伝え合い <p>【例】・共通の単元において、他校の生徒との意見交換を希望する場合 ・総合的な探究の時間や特別活動において、他校の生徒と課題研究等の取組内容の交流を希望する場合</p>
教師支援型	<p>教科・科目等（総合的な探究の時間及び特別活動含む。）の授業において、遠隔システムを活用して、受信校から離れた場所にいる専門家等と受信校をつなぎ、受信校の授業に対して専門家等が支援する授業形態</p> <p>この場合、受信校の教室には、当該教科の免許状を保有する者が担当教師として携わることが条件になる。</p> <p>専門家等からの支援として、ALTや専門家等の外部人材の活用、博物館や美術館等と連携した学習活動、専門性の高い教師とのチーム・ティーチング等がある。</p> <p>【例】・経験の浅い教科担任が、他校の専門性の高い教師とのチーム・ティーチングを希望する場合 ・免許外教科担任が授業を担当している状況において、他校の専門性の高い教師とのチーム・ティーチングを希望する場合 ・遠隔地にいるALTや外部人材と連携した授業を希望する場合</p>
教科・科目充実型	<p>教科・科目等（総合的な探究の時間及び特別活動含む。）の授業において、遠隔システムを活用して、配信校の教師が受信校の授業を行う授業形態</p> <p>この場合、配信校の教師は当該教科の免許状を保有することが条件になる。受信校については、教師が立ち会うことが条件だが、当該教科の免許状の有無は問わない。</p> <p>具体的には、特定の単元等において、習熟度別授業や少人数指導を実施することが考えられる。</p> <p>【例】・教科担任は1名しかいないが、当該教科の免許を保有した他校の教師と連携して、習熟度別授業や少人数指導の実施を希望する場合 ・免許外教科担任が授業を担当している状況において、特定の単元において、専門的な見地から、当該教科の免許を保有した他校の教師による授業を希望する場合</p>

【遠隔授業の3類型のイメージ図】

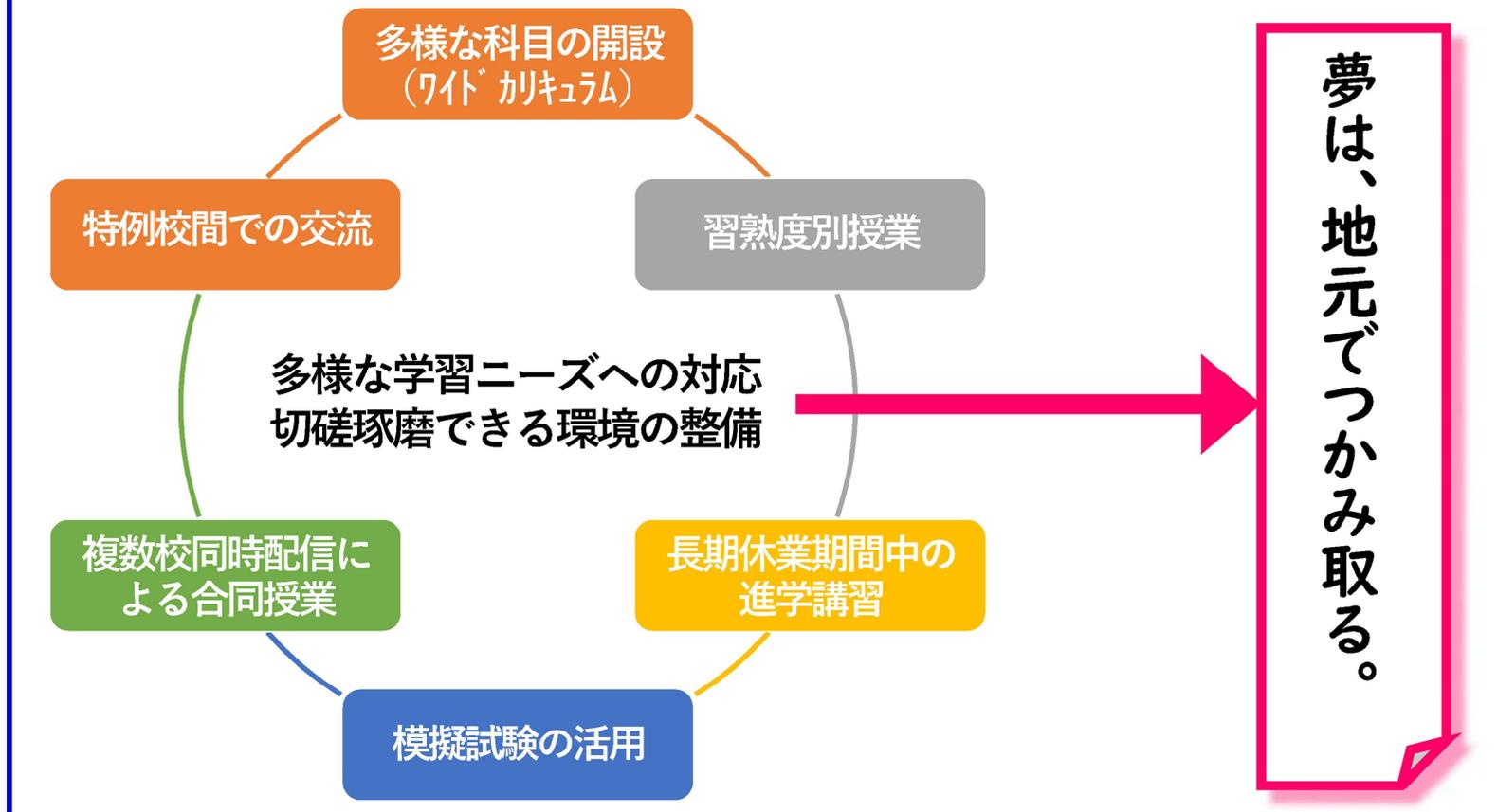


年度	内容
H18	「新たな高校教育に関する指針」に遠隔授業等による学校間連携の充実を明記
H20	一部高校において遠隔授業を開始
H25	研究開発学校制度を活用し、遠隔授業における単位認定の在り方についての実証研究を開始
H29	研究開発学校制度を活用し、対面授業の時数緩和に向けた実証研究を開始
R2	COREハイスクールネットワーク構想を活用し、生徒の多様な進路希望の実現及び学校間連携の充実に向けた調査研究を開始
R3	北海道高等学校遠隔授業配信センター設置（年次進行）
R5	北海道高等学校遠隔授業配信センター完成

遠隔授業配信センター構想

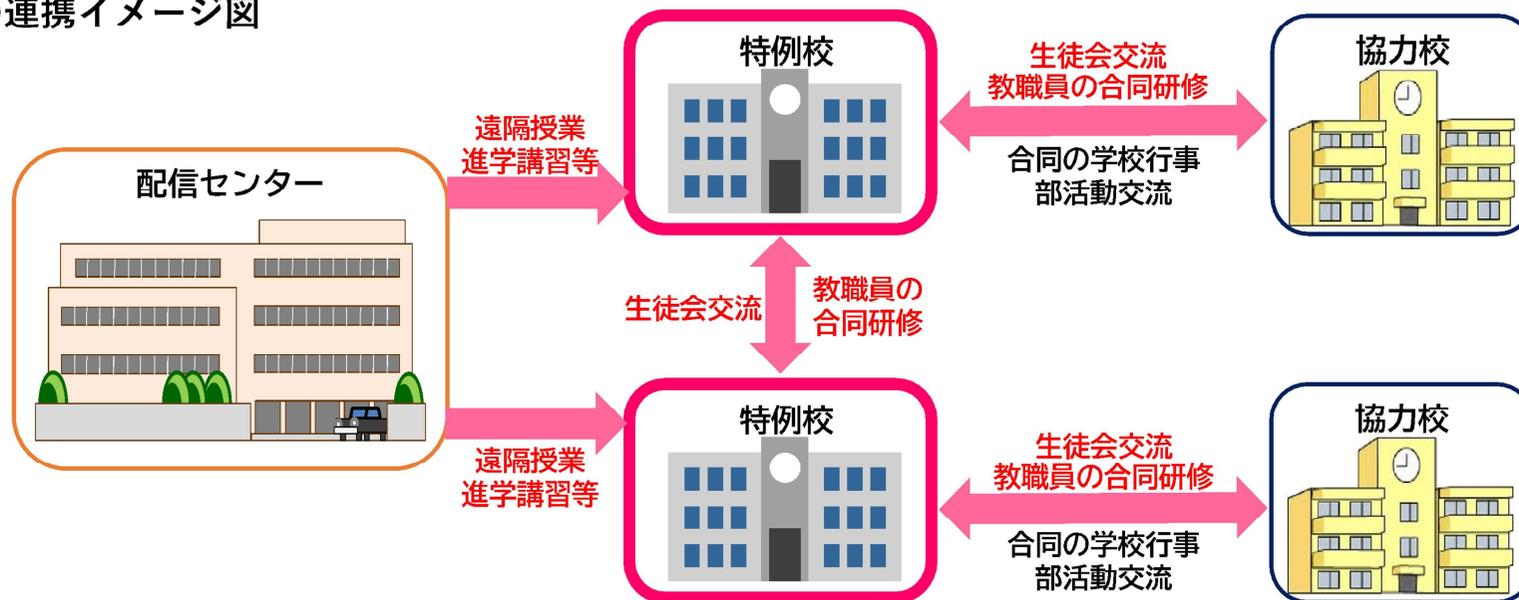
- 地域連携特例校・協力校間の連携及び研究開発学校制度の活用により、小規模校における多様な科目の開設については一定程度の成果
- 配信される遠隔授業の質の確保が課題

北海道高等学校遠隔授業配信センターの開設



遠隔授業配信センター構想

●連携イメージ図



遠隔授業に関する主な取組概要

- **配信センターからの遠隔授業の実施**
習熟度別授業の実施、生徒の学習ニーズに応じた多様な科目の開設
複数校への同時配信による授業の実施（遠隔合同授業）
- **配信センターからの進学講習の実施**
長期休業期間中を利用した進学講習の実施
- **遠隔システムを活用した地域連携特例校等間における交流等**
地域連携特例校等間の遠隔授業の実施、生徒会交流、教職員研修
- **遠隔授業を担当する教員に必要なスキルを身に付けるための教員研修の実施**

北海道高等学校遠隔授業配信センター（T-base）

開設目的

どの地域においても、自らの可能性を最大限に伸ばしていくことのできる多様で質の高い高校教育を提供し、地域の小規模な高校の教育課程や教育活動の充実を図るため、北海道有朋高等学校内に、地域の小規模な高校に遠隔授業を行う「北海道高等学校遠隔授業配信センター」（T-base）を令和3年4月に開設

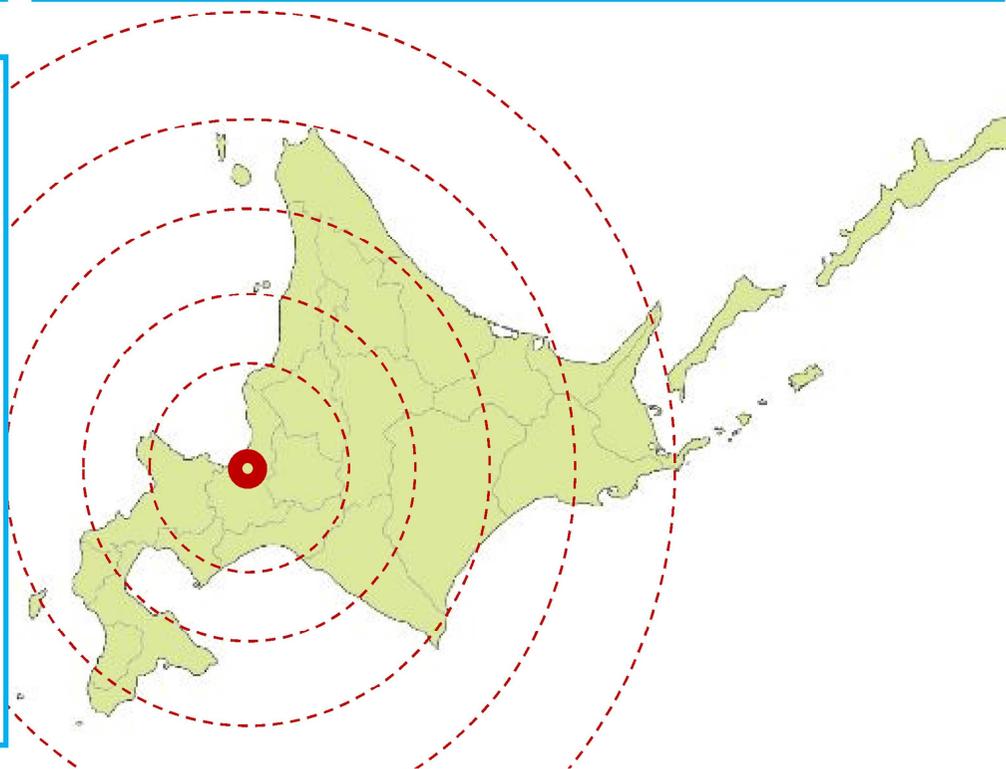
配信計画

- 令和3年度から年次進行で配信。
- 令和5年度以降は全学年配信。

	R3	R4	R5
配信学年	1年生	1年生	1年生
		2年生	2年生
			3年生

実施体制[R4]

- センター長 1名
（北海道有朋高等学校長が兼務）
- 業務を担当する教員 17名
 - ・次長（教頭） 1名
配信業務の全体把握
受信校等との渉外業務
 - ・教諭 16名
国語1、地理歴史1、公民1、
数学4、情報1、理科2、音楽1、
書道1、英語4
教員は遠隔授業を専任で担当



遠隔授業配信センターの取組に係る役割分担

北海道教育委員会

制度設計、予算の確保、遠隔機器リース等に係る対応、配信側教員の確保、実施校等で構成する運営協議会の企画・運営、実施校からの照会・相談への対応、
授業の質の向上に係るサポートチーム派遣、道外からの視察への対応、新規受信校が所在する地域への説明・試行配信の調整、遠隔教育の取組の周知、報道機関による取材依頼の調整、道教委ウェブページの管理、広報誌等への記事の掲載、配信教科・科目の希望の事前調査、受信科目申請の受付など

T-base【遠隔授業配信センター】

配信時間割の編成、シラバスの作成、教科書及び教材の選択、遠隔授業の配信、対面授業の実施、考査等の作問、評価・評定の実施、取材対応、視察対応など

受信校

- 習熟度別のクラス編成
- 生徒・保護者への適切な説明
- 受信環境の整備
- カリキュラム・マネジメントの視点からの受信科目の申請

地元中学校・教育委員会

- 遠隔授業の取組の理解、中学生・保護者への説明
- 高校と連携した取組の推進、各種支援等